

高病原性鳥インフルエンザ 宮崎県(13例目)疑似患畜 確認 (全国22例目)

【宮崎13例目(全国22例目)】

宮崎県東臼杵郡(ひがしうすきぐん)門川町(かどかわちょう)大字 川内

肉用鶏 約33,000羽

3月5日昼、農場から家畜保健衛生所に通報

(死亡羽数増加:3月4日に10羽→3月5日に30羽の死亡確認)

A型インフルエンザの簡易検査で陽性

3月5日深夜、遺伝子検査の結果、H5亜型 陽性と判明し、死亡鶏の状況等も合わせて考慮し、疑似患畜と判定

家きんの殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等、必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施

高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底

1 農場の衛生管理の徹底 (基本的な飼養衛生管理)

防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底

農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施

鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



2 早期通報の徹底

鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合

1鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合

1鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合

その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症場等の異常が確認された場合



連絡先 飛騨家畜保健衛生所
TEL(0577)33-1111 FAX32-9019
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況 《H22年10月～：家きん飼養農家》

家きん飼養農家

家きんでの発生事例
全8県 22農場
約177万羽

島根県
11月安来市:鶏(採卵鶏)20,000羽
12月5日 防疫措置完了
12月27日 移動制限解除

大分県
2月2日大分市:鶏(採卵鶏)11,100羽
2月5日 防疫措置完了
2月27日 移動制限解除

鹿児島県
1月25日出水市:鶏(採卵鶏)8,600羽
1月26日 防疫措置完了
2月17日 移動制限解除

愛知県
1月26日豊橋市:鶏(採卵鶏)約15万羽
2月3日 防疫措置完了
2月25日 移動制限解除
2月14日新城市:鶏(種鶏)約17,500羽
2月16日 防疫措置完了

三重県
2月5日紀宝町:鶏(肉用)約67,000羽
2月21日 防疫措置完了
2月26日南伊勢町:鶏(採卵)約240,000羽
3月6日 防疫措置完了

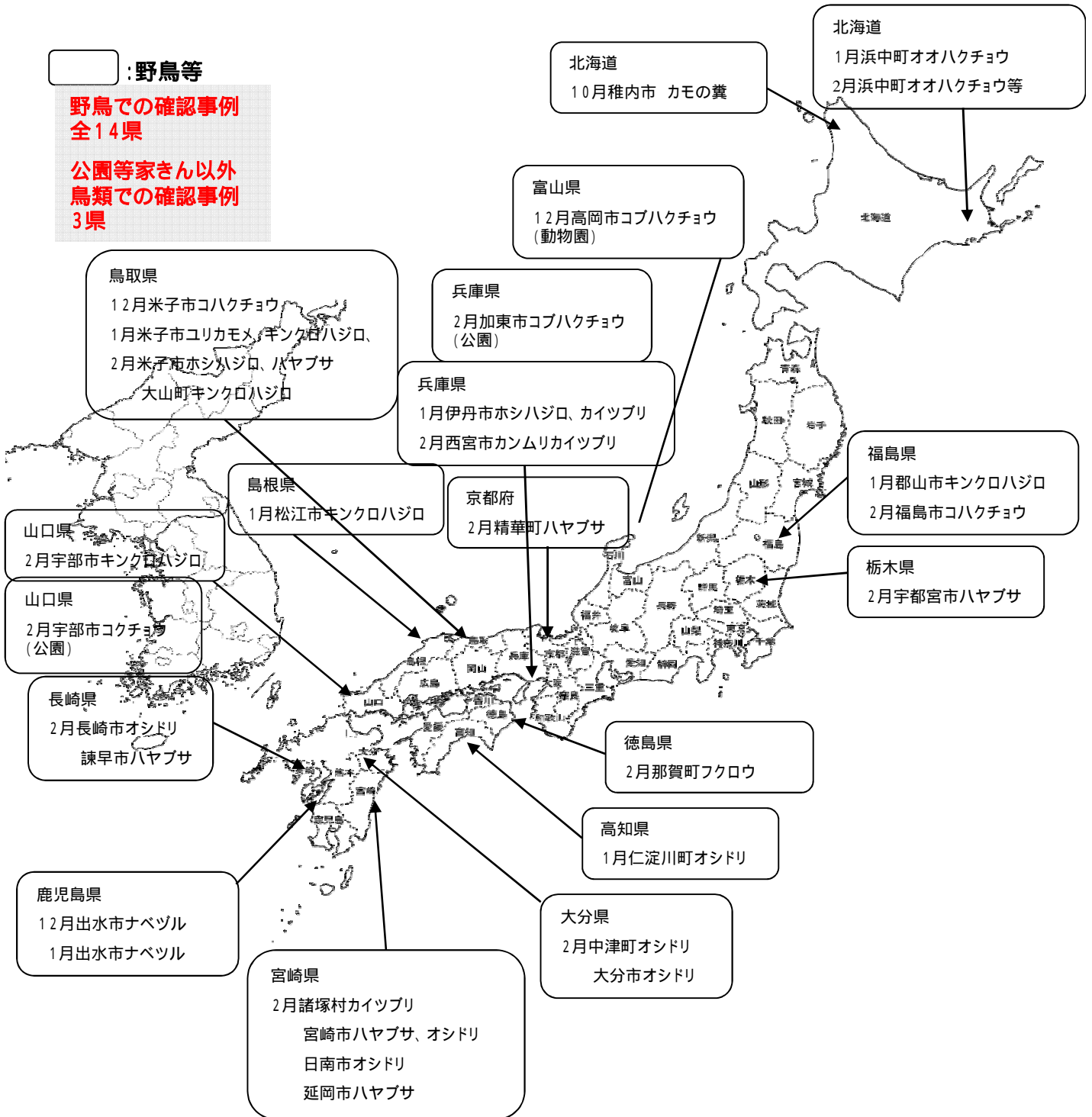
奈良県
2月28日五條市:鶏(採卵)約10万羽
(3月4日 防疫措置実施中)

和歌山県
2月15日紀の川市:鶏(採卵)約120,000羽
2月20日 防疫措置完了

宮崎県
1月22日宮崎市:鶏(種鶏)10,240羽、1月24日防疫措置完了、2月15日移動制限解除
1月23日新富町:鶏(採卵)約66,000羽、2月2日防疫措置完了、2月24日移動制限解除(団地全体約41万羽)
1月27日都農町:鶏(肉用)10,400羽、1月29日防疫措置完了、2月20日移動制限解除
1月28日川南町:鶏(肉用)92,000羽、1月31日防疫措置完了、2月22日移動制限解除
1月28日延岡市:鶏(肉用種鶏)6,600羽、1月30日防疫措置完了、2月21日移動制限解除
1月30日高鍋町:鶏(肉用)39,200羽、2月1日防疫措置完了、2月23日移動制限解除
2月1日宮崎市:鶏(肉用)190,000羽、2月4日防疫措置完了、2月26日移動制限解除
2月4日高千穂町:鶏(肉用)59,000羽、2月6日防疫措置完了、2月28日移動制限解除
2月5日都農町:鶏(肉用)約88,000羽、2月7日防疫措置完了、3月1日移動制限解除
2月5日門川町:鶏(肉用)約30,000羽、2月7日防疫措置完了、3月1日移動制限解除
2月7日宮崎市:鶏(肉用)約33,000羽、2月8日防疫措置完了、3月2日移動制限解除
2月17日延岡市:鶏(肉用)約20,000羽、2月17日防疫措置完了
3月5日門川町:鶏(肉用)約33,000羽、H5亜型陽性 防疫措置実施中

現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)です。

日本における高病原性鳥インフルエンザの確認状況 《H22年10月～：野鳥等》



現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型(強毒)です。